

授業科目名	【G】	社会科・公民科指導法Ⅲ		区分	【G】2	単位数	【G】2	
	【H】	社会科指導法Ⅰ			開講年次		【H】2	【H】2
	【I】	社会科指導法Ⅰ					【I】2	【I】2
科目区分	教科及び教科の指導法に関する科目							
授業形態	対面開講							
担当形態	単独	【G】 教員の免許状取得のための必修科目(中一種免社会)、選択科目(高一種免公民) 【H】 教員の免許状取得のための必修科目(中一種免社会)、選択科目(高一種免公民) 【I】 教員の免許状取得のための必修科目(中一種免社会)、選択科目(高一種免公民)						
施行規則に定める科目区分又は事項等	各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)							
サブタイトル	教材研究は、社会科授業の生命線				担当者	後藤 雅彦		
授業概要	【概要】	【実務(中学校教諭)経験を活かした授業】 中学校における教育経験をもとに、学校現場で求められる基礎的な実践的指導力の育成を図る。 【概要】 「社会科を教える」とは、実は大変である。授業者として、地理・歴史・公民的分野すべてを扱うからである。基本事項及びその行間を深掘りしていくことは地味だが、一つ一つの学習内容に対する教材研究の積み重ねしかない。本授業では一人一人にそれを課し、その成果を共有していく。						
	【到達目標】	○「社会科」学習内容のどの分野においても、基本事項について深く理解している。 ○社会的事象の背景や裏側にある問題を知るため、粘り強くその教材研究を進める力を備えている。 ○社会で起こる様々な出来事に興味関心を寄せ、調査事項をノートにまとめる習慣を身に付けている。						
履修条件	※注意 「社会科・公民科指導法入門」(2023年度生までは「社会科・公民科指導法Ⅰ」)を履修済みの者。							
アクティブラーニングの方法	【-】	事前学習型	【-】	反転授業	【○】	調査学習	【-】	フィールドワーク
	【-】	双方向アンケート	【○】	グループワーク	【-】	対話・議論型授業	【-】	ロールプレイ
	【-】	プレゼンテーション	【-】	模擬授業	【-】	PBL	【-】	その他
ディプロマ・ポリシーとの関連性	DP(ディプロマ・ポリシー)①	- (当てはまらない)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)②	- (当てはまらない)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)③	◎ (よく当てはまる)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)④	- (当てはまらない)						
他科目との関連性	2024年度以降入学者以降は「社会科指導法Ⅰ」。2023年度以前入学者は「社会科・公民科指導法Ⅲ」の名称となる。 「社会科・公民科指導法入門」(2023年度生までは「社会科・公民科指導法Ⅰ」)(2年) 「社会科指導法Ⅱ」(2023年度生までは「社会科・公民科指導法Ⅱ」)(3年)							
教科書	『新しい社会 地理 [令和3年度]』東京書籍(中学校社会科用 文部科学省検定済教科書)、『新しい社会 歴史 [令和3年度]』東京書籍(中学校社会科用 文部科学省検定済教科書)、『新しい社会 公民 [令和3年度]』東京書籍(中学校社会科用 文部科学省検定済教科書)。※どれもすべて中古本可。							
参考書	文部科学省『中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 社会編』、文部科学省『高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 公民編』 田部俊充・田尻信壹・小松伸之『大学生のための中等社会科・地理歴史科・公民科概論』風間書房 原田智仁『社会科教育のルネサンスー実践知を求めてー』保育出版社							
評価方法	授業や演習への参加態度(30%)、課題への取組内容(30%)、まとめ資料提出(40%)を総合して評価する。							
フィードバック方法	毎時間の「復習シート」、課題取組へのコメント							
評価基準	授業内容について、よく理解しており、応用力もある者には、その程度に応じて「S」または「A」とする。さらに授業内容の理解の程度に応じて、概ね理解しているを「B」、最低限の基礎力を備えているを「C」とし、以上「S」から「C」までを「合格」とする。授業内容について、基礎力が不足しているを「D」、基礎力が著しく不足しているを「E」とし、「D」「E」を「不合格」とする。なお、欠席超過や試験欠席等は「F」とし、「評価不能」とする。							

授業 科目名	【G】	社会科・公民科指導法Ⅲ	区 分	開講年次	【G】2	単位数	【G】2
	【H】	社会科指導法Ⅰ			【H】2		【H】2
	【I】	社会科指導法Ⅰ			【I】2		【I】2
授業回数	授業内容						
1	イントロダクションー授業の進め方と、教材研究を背負うということー 予習： 90分を目安に、「なぜ、社会科教師をめざすのか」再考する。 復習： 90分を目安に、教材研究の意義を見直す。						
2	学習内容の教材研究ー地理的分野① 世界地理ー 予習： 90分を目安に、背景や問題を調べる。 復習： 90分を目安に、背景や問題を調べる。						
3	学習内容の教材研究ー地理的分野② 日本地理ー 予習： 90分を目安に、背景や問題を調べる。 復習： 90分を目安に、背景や問題を調べる。						
4	学習内容の教材研究ー地理的分野③ 地理まとめー 予習： 90分を目安に、背景や問題を調べる。 復習： 90分を目安に、背景や問題を調べる。						
5	学習内容の発表ー教材研究の成果 予習： 90分を目安に、発表の準備をする。 復習： 90分を目安に、学習内容をまとめる。						
6	学習内容の教材研究ー歴史的分野① 古代・中世・近世ー 予習： 90分を目安に、背景や問題を調べる。 復習： 90分を目安に、背景や問題を調べる。						
7	学習内容の教材研究ー歴史的分野② 近代・現代ー 予習： 90分を目安に、背景や問題を調べる。 復習： 90分を目安に、背景や問題を調べる。						
8	学習内容の教材研究ー歴史的分野③ 歴史まとめー 予習： 90分を目安に、背景や問題を調べる。 復習： 90分を目安に、背景や問題を調べる。						
9	学習内容の発表ー教材研究の成果 予習： 90分を目安に、発表の準備をする。 復習： 90分を目安に、学習内容をまとめる。						
10	学習内容の教材研究ー公民的分野① 政治ー 予習： 90分を目安に、背景や問題を調べる。 復習： 90分を目安に、背景や問題を調べる。						
11	学習内容の教材研究ー公民的分野② 経済ー 予習： 90分を目安に、背景や問題を調べる。 復習： 90分を目安に、背景や問題を調べる。						
12	学習内容の教材研究ー公民的分野③ 国際社会ー 予習： 90分を目安に、背景や問題を調べる。 復習： 90分を目安に、背景や問題を調べる。						
13	学習内容の教材研究ー公民的分野④ 公民まとめー 予習： 90分を目安に、背景や問題を調べる。 復習： 90分を目安に、背景や問題を調べる。						
14	学習内容の発表ー教材研究の成果 予習： 90分を目安に、発表の準備をする。 復習： 90分を目安に、学習内容をまとめる。						
15	学習内容の総まとめー教材研究をするということー 予習： 90分を目安に、全学習内容を整理復習する。 復習： 90分を目安に、自分の追究分野やテーマを検討する。						
その他	全体履修人数の多少によって、必要に応じ内容修正をする場合がある。また、常にポートフォリオ形式で授業資料等を分類整理する。						